

## NY マーケットレポート (2015年6月3日)

NY市場では、序盤に発表されたADP雇用統計が、ほぼ予想通りのまざるまざるの結果となったことや、米貿易赤字が予想以上に減少したことを受けて、ドルは序盤から堅調な動きとなった。しかし、その後に発表されたISM非製造業景況指数などサービス関連の経済指標が予想を下回る結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。一方、ドラギ ECB 総裁が、ユーロ圏の景気回復の兆候に言及し、インフレ率が年内に上昇し始めるとの見通しを示したことを好感して、ユーロが主要通貨に対して上昇する動きとなった。特に、ユーロ/円は、一時140円台まで上昇し、1月13日以来の高値を付ける動きとなった。

### 2015/6/3 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	124.16	124.24	123.80
EUR/JPY	138.32	138.63	138.05
GBP/JPY	190.69	190.70	190.14
AUD/JPY	96.73	96.89	96.25
EUR/USD	1.1141	1.1190	1.1123

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	124.50	124.11
EUR/JPY	138.56	138.10
GBP/JPY	190.82	189.57
AUD/JPY	96.79	96.62
EUR/USD	1.1164	1.1103

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	20473.51	-69.68
ハンセン指数	27657.47	+190.75
上海総合	4909.98	-0.55
韓国総合指数	2063.16	-15.48
豪ASX200	5583.58	-52.44
インドSENSEX指数	26837.20	-351.18
シンガポールST指数	3349.84	+9.09

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6950.46	+22.19
仏CAC40	5034.17	+29.71
独DAX	11419.62	+90.82
ST欧州600	395.93	-0.52
西IBX35指数	11267.60	-3.80
伊FTSE MIB指数	23608.83	+32.67
南ア 全株指数	51850.67	-334.94

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	124.25	124.69	124.01
EUR/JPY	140.04	140.14	138.12
GBP/JPY	190.57	190.72	190.06
AUD/JPY	96.76	96.99	96.60
NZD/JPY	88.90	89.18	88.69
EUR/USD	1.1272	1.1286	1.1080
AUD/USD	0.7788	0.7814	0.7751

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18076.27	+64.33
S&P500	2114.07	+4.47
NASDAQ	5099.23	+22.71
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	15154.68	+49.94
🇧🇷 ボルサ指数	44732.72	-198.76
🇧🇷 ボベスパ指数	53522.91	-713.53

#### 6/4 経済指標スケジュール

10:30	【豪】4月小売売上高
10:30	【豪】4月貿易収支
16:30	【スウェーデン】4月鉱工業生産
20:00	【英】政策金利発表
20:30	【米】5月チャレンジャー人員削減数
21:30	【米】新規失業保険申請件数
21:30	【米】失業保険継続受給者数
21:30	【米】1Q非農業部門労働生産性
23:00	【カナダ】5月Ivey購買部協会指数
03:00	【メキシコ】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1184.90	-9.50
NY 原油	59.64	-1.62
CMEコーン	359.00	0.00
CBOT 大豆	935.25	-5.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.67%	0.65%
3年債	1.05%	1.00%
5年債	1.69%	1.61%
7年債	2.11%	2.01%
10年債	2.36%	2.26%
30年債	3.10%	3.02%

#### 6/4 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 挨拶
- ・タルー口FRB理事 講演

(出所: SBILM)

## NY 市場レポート

### 欧州市場

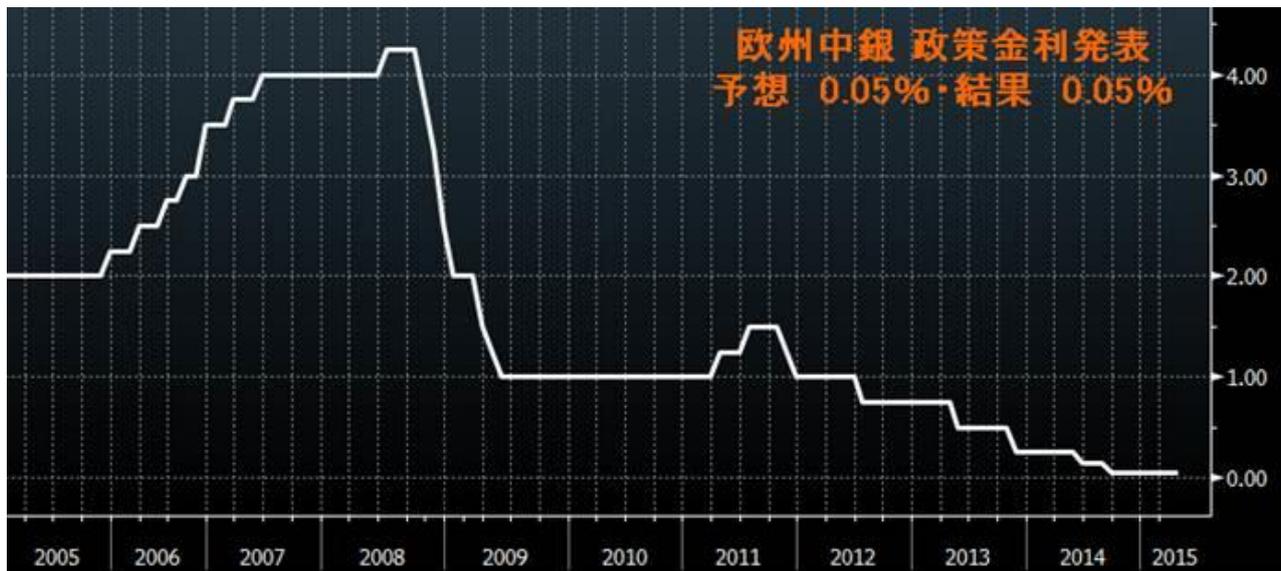
20 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

欧州中銀 政策金利発表 0.05% (予想 0.05%・前回 0.05%)

中銀預金金利 -0.20% (予想 -0.20%・前回 -0.20%)

限界貸出金利 0.30% (予想 0.30%・前回 0.30%)



(出所：ブルームバーグ)

21:00

ドル/円 124.45 ユーロ/円 138.32 ユーロ/ドル 1.1118

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

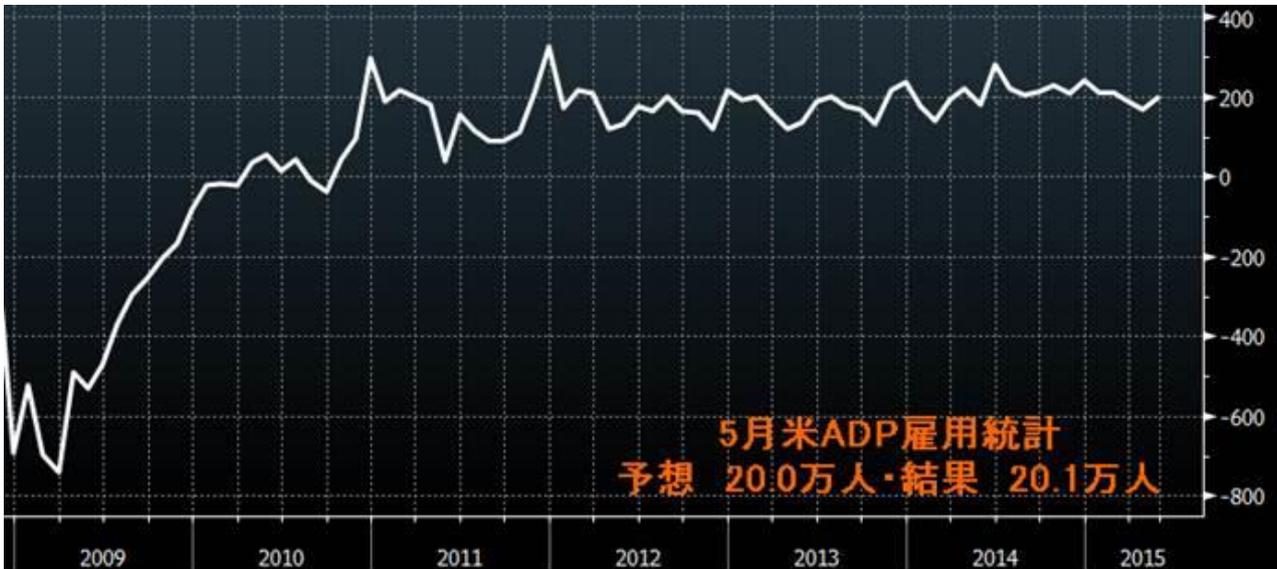
欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6974.08	+45.81	ダウ 先物ミニ	18103	+102
仏 CAC40	5074.30	+69.84	S&P 500 ミニ	2118.25	+11.50
独 DAX	11486.36	+157.56	NASDAQ 100 ミニ	4537.25	+34.25

(出所：SBILM)

21 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

5月米ADP雇用統計 20.1万人（予想 20.0万人・前回 16.5万人）  
 前回発表の16.9万人から16.5万人に修正



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

◀ ADP雇用統計 ▶

5月・・4月・・3月・・2月・・1月・・12月・・11月

ADP雇用者数（前月比）・・・20.1・・16.5・・17.5・・20.0・・22.0・・27.5・・28.4  
 （万人）



（出所：ネットダニア）

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

4月米貿易収支 -409億USD (予想 -440億USD・前回 -506億USD)  
 前回発表の-514億USD から-506億USD に修正



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ 米貿易収支 ▶

	4月	3月	2月	1月	12月	11月	前年同月
入出超	-408.8	-505.7	-372.5	-424.5	-465.5	-395.3	-442.7
輸出	1899.1	1880.0	1867.7	1895.0	1949.8	1967.9	1950.2
輸入	2307.8	2385.7	2240.1	2319.4	2405.2	2363.2	2393.0

(単位 億ドル)

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

4月カナダ国際商品貿易 -29.7億CAD (予想 -21.5億CAD・前回 -38.5億CAD)  
 前回発表の-30.2億CAD から-38.5億CAD に修正



21 : 40

◀ 要人発言 ▶

ECB 総裁～定例会見

- ・「資産買入プログラムは順調に進んでいる」
- ・「QEは2016年9月末、あるいはインフレの道筋が目標に向け調整されていると認識するまで続ける」
- ・「インフレのトレンドを注視へ」
- ・「金融政策措置が金融状況の広範な緩和に寄与した」
  
- ・「全ての金融政策措置の完全実施がユーロ圏経済に必要な支援を提供へ」
- ・「経済リスクは下振れだが、一段と均衡している」
- ・「インフレは2015年内に上向きへ、見通しを上方修正」
- ・「今後も物価動向を注視する」
  
- ・「政策措置の完全実施を重視する」
- ・「一部の国で改革の加速が必要」
- ・「ユーロ圏の一般政府債務比率は徐々に低下する見込み」

21 : 45

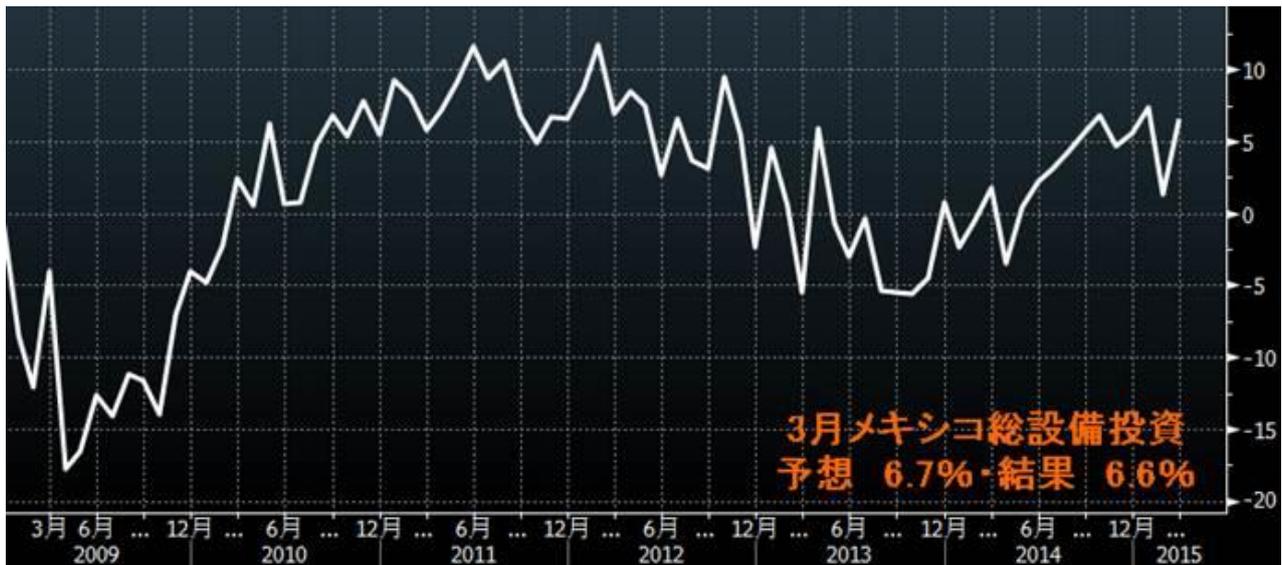
ECB スタッフ予想

- ・「2015年のユーロ圏 GDP 見通しは 1.5% (3月予想 1.5%)」
- ・「2016年のユーロ圏 GDP 見通しは 1.9% (3月予想 1.9%)」
- ・「2017年のユーロ圏 GDP 見通しは 2.0% (3月予想 2.1%)」
  
- ・「2016年のユーロ圏インフレ率見通しは 1.5% (3月予想 1.5%)」
- ・「2017年のユーロ圏インフレ率見通しは 1.8% (3月予想 1.8%)」

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月メキシコ総設備投資 6.6% (予想 6.7%・前回 1.3%)



(出所：ブルームバーグ)

22:10

《 要人発言 》

ECB 総裁～質疑応答

- ・「ギリシャ協議の合意は成長促進に向け強力かつ持続的なものとなるべき」
- ・「ユーロ圏の内需は依然として強い」
- ・「債券市場の変動は、テクニカル要因・成長加速・インフレ上昇などが絡みあっている可能性」
- ・「市場のボラティリティ上昇局面に慣れるべき」
- ・「インフレ率の変化に意外感はない」
- ・「出口戦略は協議しなかった、まだ遠い先」
- ・「ギリシャ債務のヘアカットについては検討、次回会合で状況を確認すべき」
- ・「目標達成にむけ現在の政策スタンスは適切」
- ・「必要なら債券買入規模を見直す可能性あるが、これまでのところは必要ない」

22:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	18064.46	+52.52
ナスダック	5097.09	+20.57

(出所：SBILM)

22:45

《 経済指標の結果 》

5月マークイット米国サービス業 PMI 56.2 (予想 56.4・前回 56.4)



(出所：ブルームバーグ)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月米ISM非製造業景況指数 55.7 (予想 57.0・前回 57.8)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ ISM非製造業景況指数 ▶

	5月	4月	3月	2月	1月	12月
総合指数	55.7	57.8	56.5	56.9	56.7	56.5
景況指数	59.5	61.6	57.5	59.4	61.5	58.6
仕入価格	55.9	50.1	52.4	49.7	45.5	49.8
新規受注	57.9	59.2	57.8	56.7	59.5	59.2
雇用者数	55.3	56.7	56.6	56.4	51.6	55.7



(出所：ネットダニア)

23 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・195万バレル減少  
 ガソリン在庫・・・33.4万バレル減少  
 留出油在庫・・・377万バレル増加

23 : 40

《 NY 株式市場 序盤》

序盤の株式市場は、4月の米貿易収支で赤字額が予想以上に減少したことから、米景気は持ち直しているとの安心感が広がり、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で156ドル高まで上昇する動きとなっている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 5月の米民間部門のADP雇用者数は、+20.1万人と前月の+16.5万人から拡大した。サービス業は+19.2万人、建設業は+2.7万人となったが、製造業は-0.5万人とった。また、従業員500人以上の大企業の雇用者数は、前月比+1.3万人、50-499人の中堅企業は+6.5万人、49人以下の小企業は+12.2万人となった。企業では事業の拡大が続いており、途切れることのないモノやサービスの新規受注に対応するため雇用を増やす必要がある。そして、依然として雇用は毎月増えており、労働市場の余剰分を十分吸収できると指摘もある

(2) 4月の米貿易収支では、赤字額が国際収支ベースで前月比-19.2%の408億7900万ドルと、2ヵ月ぶりに縮小した。また、2009年2月以来6年2ヵ月ぶりの大きな減少率となった。中国やカナダなどからの輸入が減少したことや、サービス黒字の拡大も後押しして赤字全体を圧縮した。また、前月に大きく赤字額が拡大した反動も要因となった。

①輸入総額は-3.3%の2307億8400万ドルと2ヵ月ぶりに減少。輸出総額は+1.0%の1899億500万ドルと2ヵ月連続で増加した。モノの貿易赤字は-4.0%の606億500万ドル。輸入では、携帯電話や衣料品が減少。輸出では民間航空機や通信機器、産業機械が伸びた。

②国別では、対日赤字が-0.1%の71億1900万ドル、対中赤字が-15.2%の264億7800万ドル、対EU赤字は+5.3%となった。

(3) 5月マークイット米国サービス業PMI改定値は、市場予想の56.4を下回る56.2となり、低下は2ヵ月連続となり、速報値の56.4からも下方修正された。当該指数は、50が景況拡大と縮小の判断基準となる。雇用指数はやや上昇したものの、新規事業指数は55.7(速報値55.8)、総合指数は56.0(56.1)と下方修正された。マークイットのエコノミストは、「米経済は天候要因により年初に軟化した但其の後の、上向いた。ただ、サービス部門が減速しつつあることで、その反発の勢いが幾分失われていることが一段と示唆された」と指摘した。

(4) 5月の米ISM非製造業総合景況指数は、市場予想の57.0を下回る55.7となり、前月の57.8も下回り、13ヵ月ぶりの低水準となった。景気指数は59.5(4月の61.6)、新規受注は57.9(59.2)、雇用指数は55.3(56.7)と前月から低下した。一方、価格指数は55.9(50.1)と前月を上回る結果となった。

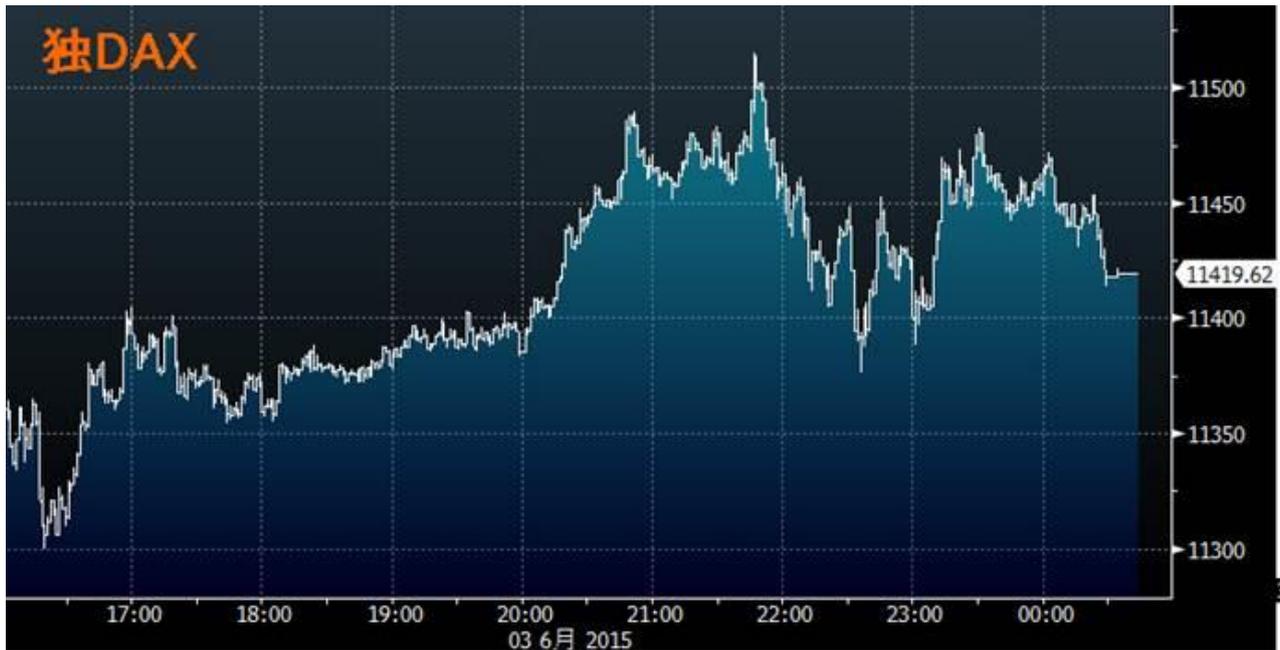
(5) 全米産業審議会が5月の新規のオンライン求人広告数は、283万5000件で、前月の265万9100件から増加した。前年同月の256万2500件からは+10.6%となった。過去4ヵ月間のオンライン求人広告数は、2015年5月283万5000件、4月265万9100件、3月267万5200件、2月269万1300件。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6950.46	+22.19
仏 CAC40	5034.17	+29.71
独 DAX	11419.62	+90.82
ストック欧州 600 指数	395.93	-0.52
ユーロファースト 300 指数	1570.76	-1.84
スペイン IBEX35 指数	11267.60	-3.80
イタリア FTSE MIB 指数	23608.83	+32.67
南ア アフリカ全株指数	51850.67	-334.94

(出所: SBILM)

#### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ギリシャ支援協議合意への期待が広がったことから、主要株価は堅調な動きとなった。また、ECBが量的金融緩和策を計画通りに2016年9月末まで続けると表明したことも好感された。



(出所：ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 18093.19 (+81.25)、S&P500 2115.63 (+6.03) ナスダック 5099.96 (+23.44)

#### 《欧州のポイント》

①イタリア国立統計研究所が発表した4月の失業率は、市場予想の12.8%を下回る12.4%に改善した。4月の新規雇用は約15万9000人と、前月比+0.7%と2012年末以来の高水準だった。レンツィ首相は、政府による労働市場改革が実を結んでいると主張した。

②ECBはユーロ圏19カ国の金融政策を決める理事会を開き、主要政策金利を過去最低の0.05%に据え置くことを決めた。また、中銀預金金利を-0.20%、限界貸出金利を+0.30%に維持した。そして、3月に始めた国債を買い取る量的緩和の効果についても議論した。量的緩和で、5月末までに国債1466億ユーロ(約20兆円)を中心とした資産を購入した。物価が持続的に下がるデフレの懸念は後退しつつあるが、当初計画通り2016年9月まで実施する方針。

#### 《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、ECBによる今年物価上昇率見通しの上方修正で、欧州債券市場でドイツ国債などの価格が下落したことが嫌気され、売りが先行した。5月の米ADP雇用統計で、雇用者数が堅調に伸びたことも、売り材料となった。

午前の利回りは、30年債が3.07%(前日3.02%)、10年債が2.33%(2.27%)、7年債が2.07%(2.01%)、5年債が1.66%(1.61%)、3年債が1.04%(1.00%)、2年債が0.67%(0.66%)。

#### 《ポイント》

OECD(経済協力開発機構)は、世界の経済見通しを公表し、GDP成長率予想を前年比+3.1%(昨年11月時点の予想は+3.7%)に下方修正した。OECDは、投資の低迷が引き続き懸念材料としながらも、原油価格の下落により景気は徐々に回復するとの見方を示した。また、2016年の成長率は+3.8%と予想した。米国は、2015年の成長率を+2.0%(前回2.2%)、2016年は+2.8%と予想した。ユーロ圏は、2015年の成長率を+1.4%、2016年は+2.1%予想した。中国は、2015年の予想を+6.8%、2016年を+6.7%とし、当初の7.4%から引き下げた。

《米地区連銀経済報告 ページブック》

- ・「4月上旬から5月下旬に景気は全般に拡大」
- ・「物価は安定もしくはやや上昇、賃金はやや拡大」
- ・「雇用水準はやや上昇」
- ・「製造業は大部分で横ばいあるいは拡大」
  
- ・「リッチモンド、シカゴ、ミネアポリス、サンフランシスコの4連銀が緩やかな成長」
- ・「ニューヨーク、フィラデルフィア、セントルイスの3連銀は緩慢な成長」
- ・「クリーブランド、カンザスの両地区はわずかなペースで拡大」
- ・「ダラスは成長ペースがわずかに鈍化、アトランタは横ばい」
  
- ・「小売りは大半の地区で上向き」
- ・「全般に自動車販売が伸びた」
- ・「大半の地区で住居用と商用の不動産に関する活動が改善、建設も活発」

3 : 45

NY金は、中心限月が前日比9.50ドル安の1オンス=1184.90ドルで取引を終了した。

4 : 15

NY原油は、中心限月が前日比1.62ドル安の1バレル=59.64ドルで取引を終了した。

4 : 40

《 要人発言 》

エバンス・シカゴ連銀総裁

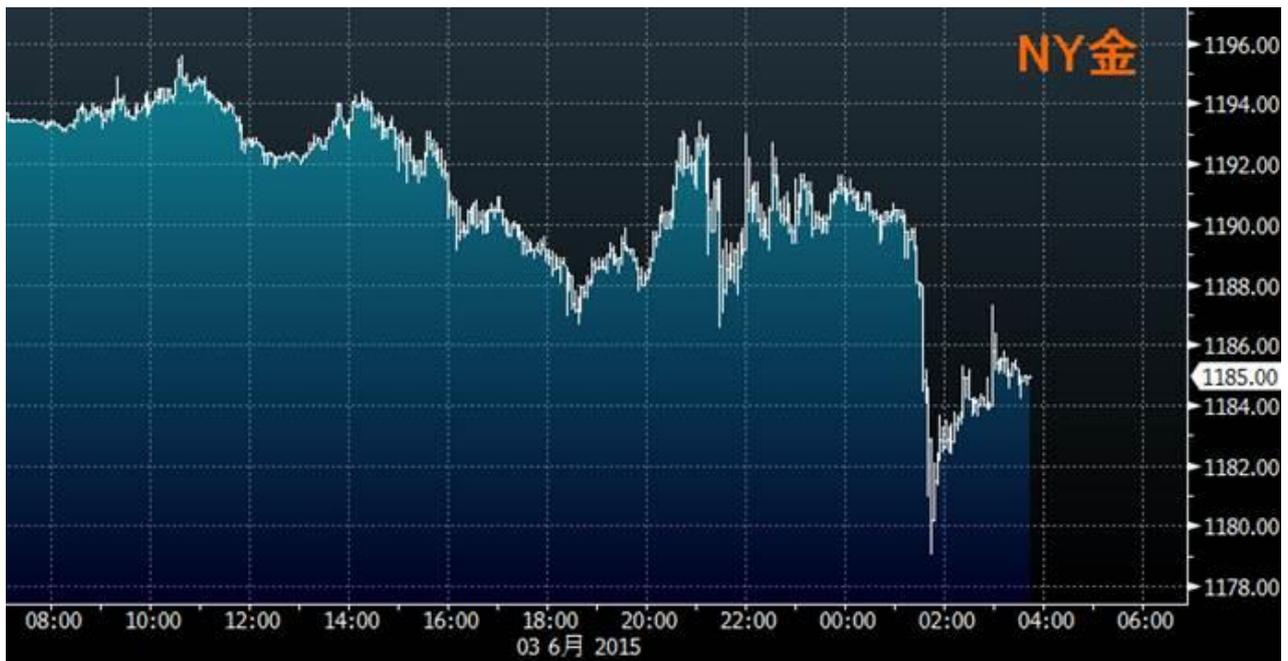
- ・「景気には引き続き緩和策が必要」
- ・「FOMCの3月の予想以降、経済指標は軟化している」
- ・「利上げへのハードルは現在、非常に高い」

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1184.90	-9.50
NY 原油	59.64	-1.62

(出所:SBILM)

《 NY金市場 》

NY金は、米雇用関連の統計が堅調だったことで米FRBによる利上げに近いことが意識されたことを受けて、売りが先行した。また、欧米株の上昇で投資家のリスク志向が強まったことも圧迫要因となった。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、米石油統計で米国の原油生産が増加し、石油精製品在庫も市場予想を上回って大幅に増えたことを受けて、売りが優勢となった。また、OPEC（石油輸出国機構）が5日の総会で生産目標を据え置くとの見方も圧迫要因となった。



(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	18076.27	+64.33	18168.09	18010.42
S&P500 種	2114.07	+4.47	2121.92	2109.61
ナスダック	5099.23	22.71	5114.61	5084.99

(出所: SBILM)

#### 《米株式市場》

米株式市場は、4月の米貿易収支で赤字額が予想以上に減少したことを受けて、米景気は持ち直しているとの安心感が広がり、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。ただ、午後には上げ幅をやや縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で156ドル高まで上昇する動きとなった。しかし、その後一段の下げとなったものの、底固い展開が続いた。



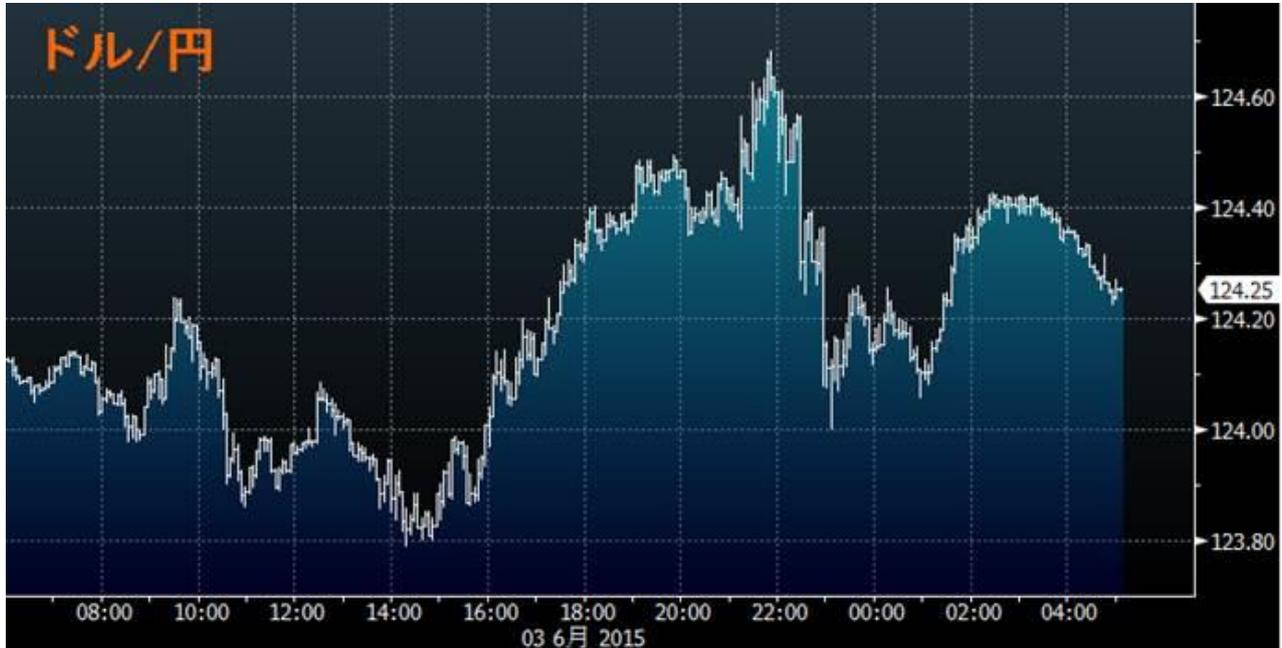
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	124.25	124.69	124.01
EUR/JPY	140.04	140.14	138.12
GBP/JPY	190.57	190.72	190.06
AUD/JPY	96.76	96.99	96.60
NZD/JPY	88.90	89.18	88.69
EUR/USD	1.1272	1.1286	1.1080
AUD/USD	0.7788	0.7814	0.7751

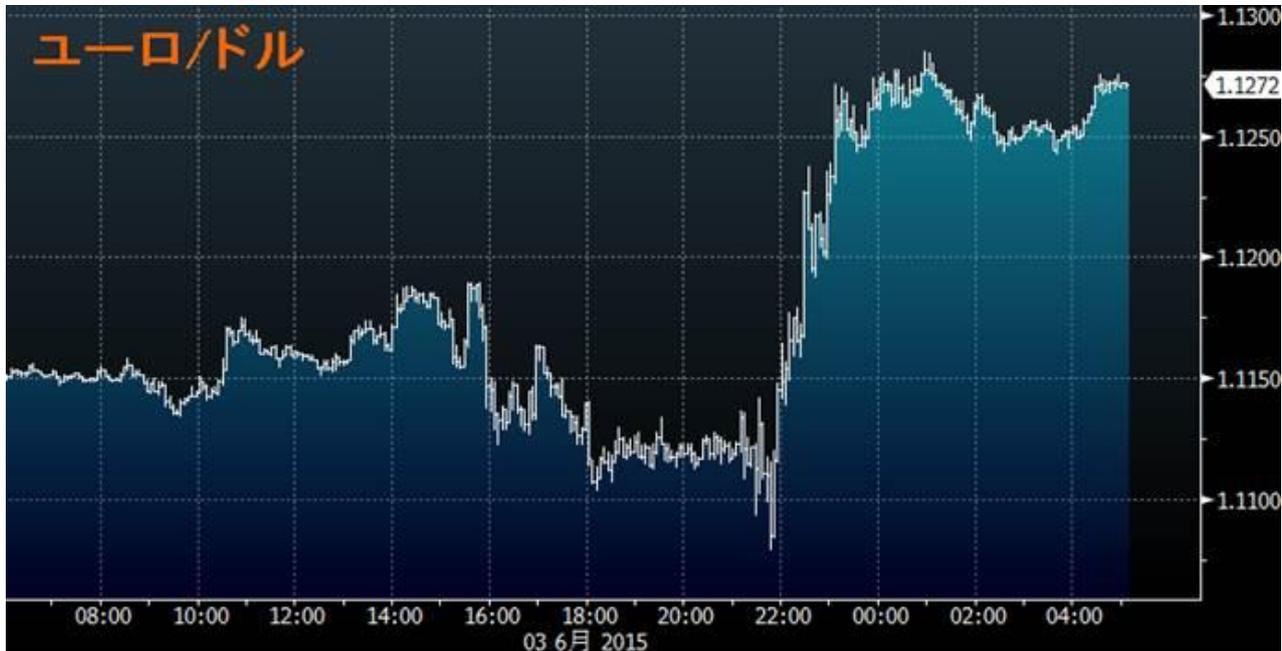
(出所: SBILM)

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、ドルは雇用関連の経済指標がまずまずの結果となったことから上昇したものの、その後に発表されたサービス関連の指標が悪化したことから、主要通貨に対して軟調な動きとなった。一方、ユーロは、量的金融緩和策が効果を上げているとの見方から、主要通貨に対して堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。